

資料 3

松くい虫被害の発生状況と被害対策（民有林）

1 被害状況

- (1) 深浦町
- (2) 南部町

2 被害対策

- (1) 深浦町
 - 1) 監視対策
 - 2) 駆除対策
 - 3) 平成 31 年度の被害対策
- (2) 南部町
 - 1) 監視対策
 - 2) 駆除対策
 - 3) 平成 31 年度の被害対策
- (3) その他の被害対策

3 参考資料

1 被害状況

青森県における松くい虫被害は、平成 22 年度に蓬田村で初めて確認された。以降、平成 23 年、25 年度に深浦町大間越地区で単木被害が、平成 27 年度からは深浦町広戸・追良瀬地区で継続的に被害が確認されている。

県南地域では、平成 30 年 10 月に南部町小向地区で被害が初めて確認された。

表 1 青森県における松くい虫被害の推移

単位:本、()国有林の本数

年月・シーズン	蓬田村 瀬辺地	深浦町			南部町 小向	合計	備考
		大間越	広戸・追良瀬	風合瀬			
H22.1	1 (0)					1 (0)	
H23.9		2 (0)				2 (0)	
H25.6		2 (0)				2 (0)	
H25.9		1 (0)				1 (0)	
H27シーズン			68 (0)			68 (0)	
H28シーズン			67 (1)	2 (1)		69 (2)	
H29シーズン			30 (1)			30 (1)	
H30シーズン			18 (0)		5	23 (0)	H30.10.26時点
合計	0 (0)	5 (0)	183 (2)	2 (1)	5 (0)	196 (3)	

※シーズン:7/1~翌年6/30の期間を、1シーズンとしている。

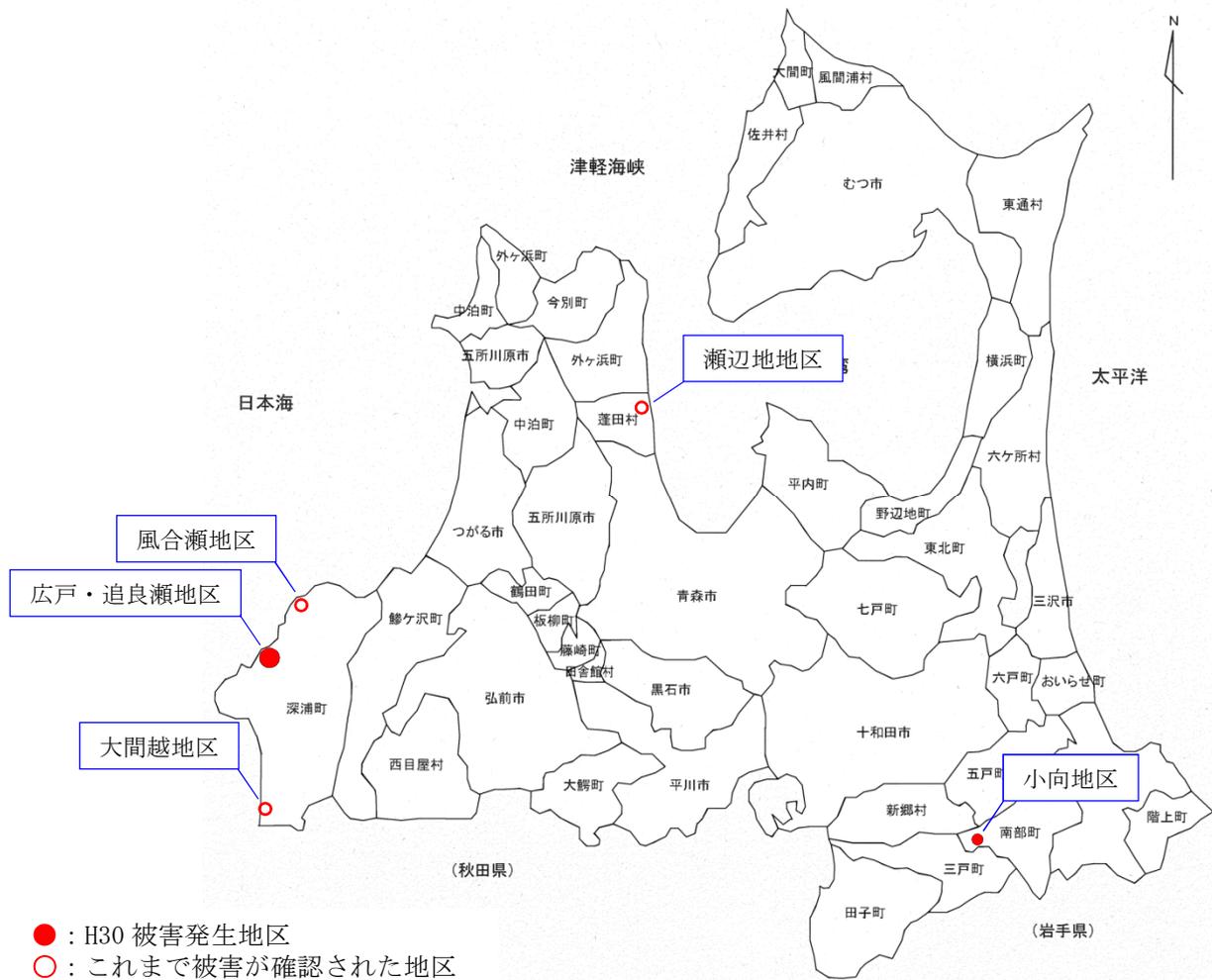


図 1 青森県における松くい虫被害地位置図

(1) 深浦町

深浦町広戸・追良瀬地区における被害木の推移は、表2に示すとおりである。
平成30年シーズンは、18本の被害が確認されている。(10/26時点)

表2 深浦町広戸・追良瀬地区に被害木の推移

被害シーズン	【単位:本】		
	民有林	国有林	合計
H27 (10月時点)	68 (48)	0 (0)	68 (48)
H28 (10月時点)	67 (41)	2 (1)	69 (42)
H29 (10月時点)	29 (15)	1 (0)	30 (15)
H30 (10月時点)	- (18)	- (0)	- (18)

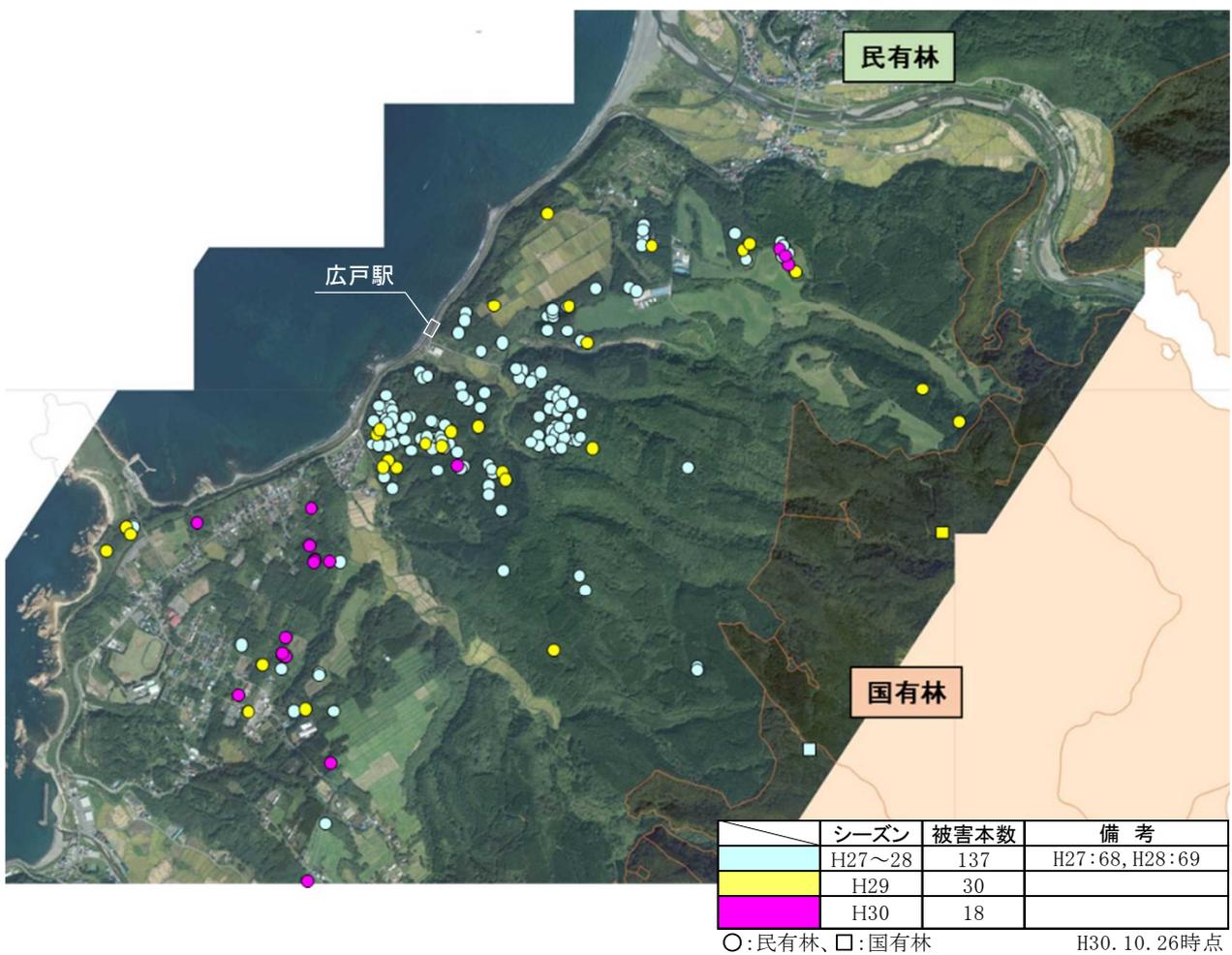


図2 広戸・追良瀬地区における被害木位置図

(2) 南部町

松くい虫防除監視員からの枯死木情報をもとに 9/11 に材片を採取し、県産業技術センター林業研究所に鑑定を依頼した結果、材片を採取したアカマツ 2 本からマツノザイセンチュウ（以下、センチュウ）の陽性反応が検出された。さらにこの 2 本の材片からは（国研）森林総合研究所による鑑定でもセンチュウが検出されたことを受け、平成 30 年 10 月 5 日に県南地域で初めての松くい虫被害であることが確定した。

周辺の地上目視やドローンによる上空探査、ヤニ打ち調査により被害木は、合計 5 本となっている。

表 3 南部町における被害木本数

【単位:本】			
被害シーズン	民有林	国有林	合計
H30 (10月時点)	- (5)	- (0)	- (5)

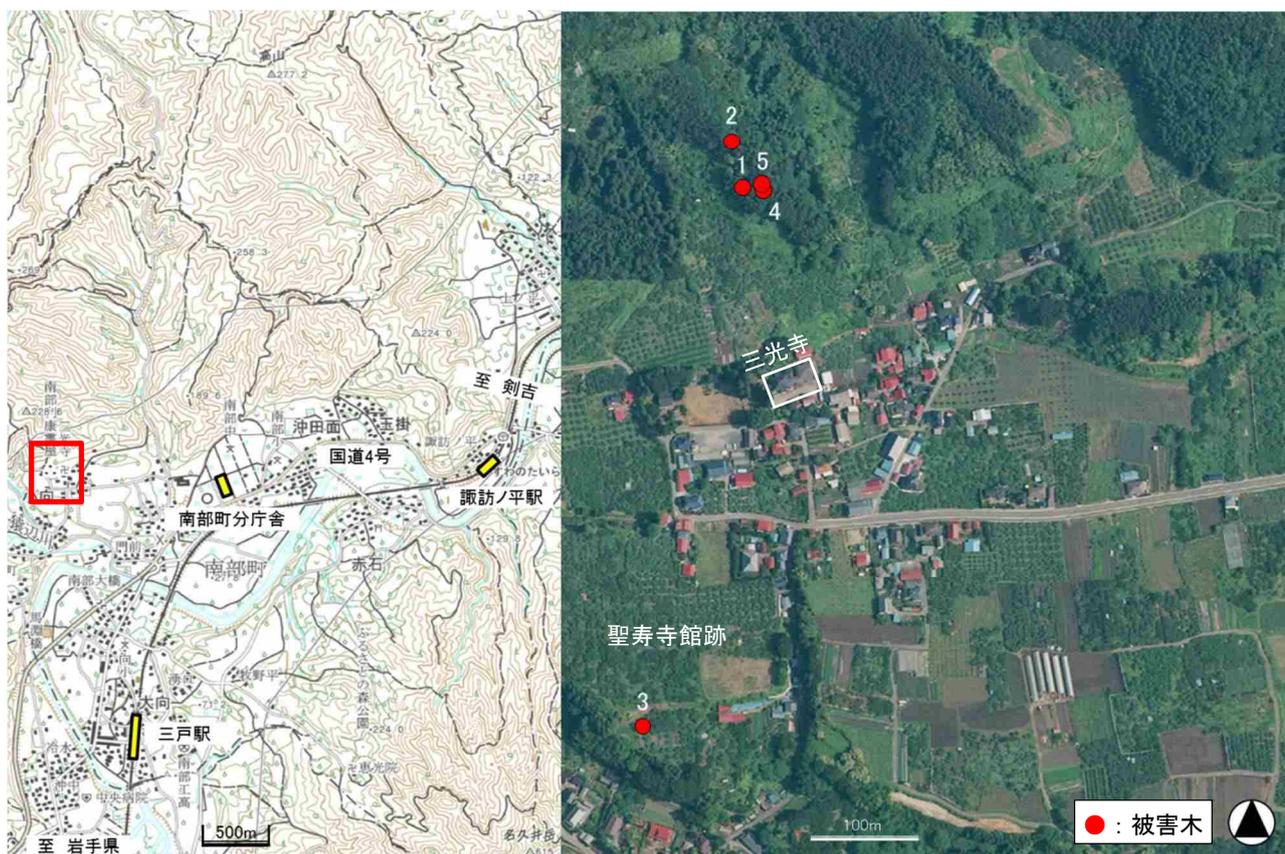
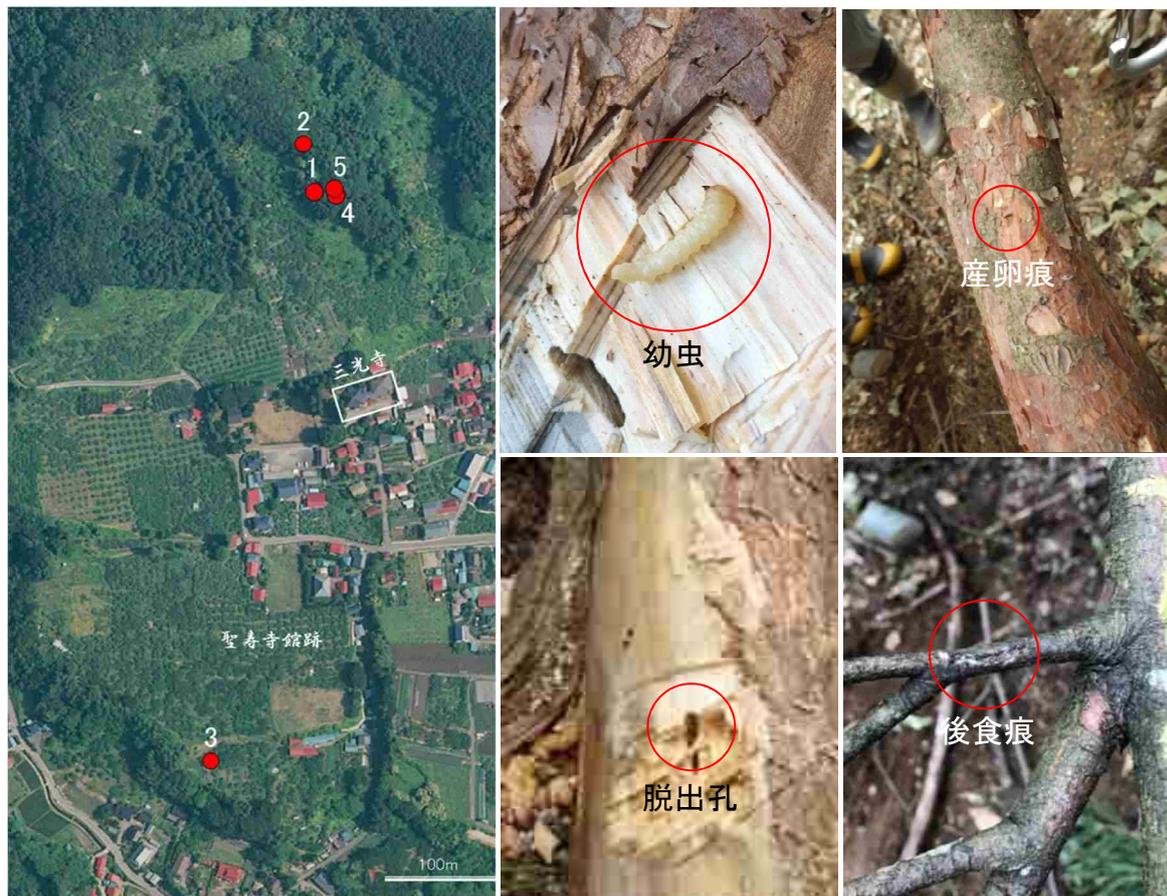


図 3 南部町小向地区における被害木位置図

【参考】松くい虫被害木痕跡調査（実施日：10/16（火））

被害木2・4からはカミキリの幼虫、被害木1からは産卵痕、被害木1・2・5から後食痕が確認された。また、被害木3からは、脱出孔が確認された。



【参考】材片採取から被害確定までの経緯

月 日	内 容
9月11日	松くい虫防除監視員からの枯死木情報をもとにアカマツの枯死木2本※から材片を採取
9月13日 ～14日	県産業技術センター林業研究所で簡易鑑定を実施した結果、2本※からマツノザイセンチュウの陽性反応を確認し、翌14日に林業研究所が国立研究開発法人森林総合研究所へ鑑定を依頼 ・・・(計2本)
9月19日 ～10月3日	被害木周辺半径2km範囲におけるドローンと目視による調査で16本の枯死木及び、半径100m範囲のアカマツ170本のヤニ打ち調査で19本の異常木を発見し、材片を採取
9月27日	枯死木16本のうち2本から陽性反応を確認 ・・・(計4本)
10月5日	森林総合研究所によるマツノザイセンチュウの鑑定結果から、2本※とも松くい虫被害であることが確定
10月5日	ヤニ打ち異常木19本のうち1本から陽性反応を確認 ・・・(計5本)

※同じ被害木